



京浜港湾事務所

工事名 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側海上地盤改良工事
横浜港新本牧地区護岸(防波)東側海上地盤改良工事

工事内容 横浜港新本牧地区護岸(防波)の整備に向けて、海底地盤を改良します。

●工事区分 護岸(防波)の地盤改良工事は、下記の2件に分けて進めます。

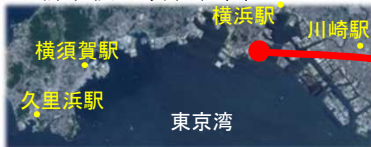
	工事名	工期	施工会社
南側	横浜港新本牧地区護岸(防波)南側海上地盤改良工事	R2.7.7 ~ R4.3.28	東亜・本間・不動テトラ 特定建設工事共同企業体
	新本牧ふ頭の南側の護岸を担当。サンドコンパクションパイル約10,500本を施工します。		
東側	横浜港新本牧地区護岸(防波)東側海上地盤改良工事	R2.7.1 ~ R3.12.24	五洋・みらい特定建設工事共同企業体
	新本牧ふ頭の東側側の護岸を担当。サンドコンパクションパイル約7,000本を施工します。		

●工事の流れ 本工事は、下記のような流れで進めていきます。



横浜港国際海上コンテナターミナル再編整備事業

▽新本牧ふ頭位置図



▽(新本牧ふ頭)施工位置図



▽工程表

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
岸壁(水深18m)								
護岸(防波)								
防波堤								
荷さばき地								
道路								

本工事

京浜港湾事務所

施工状況

準備工

敷砂工

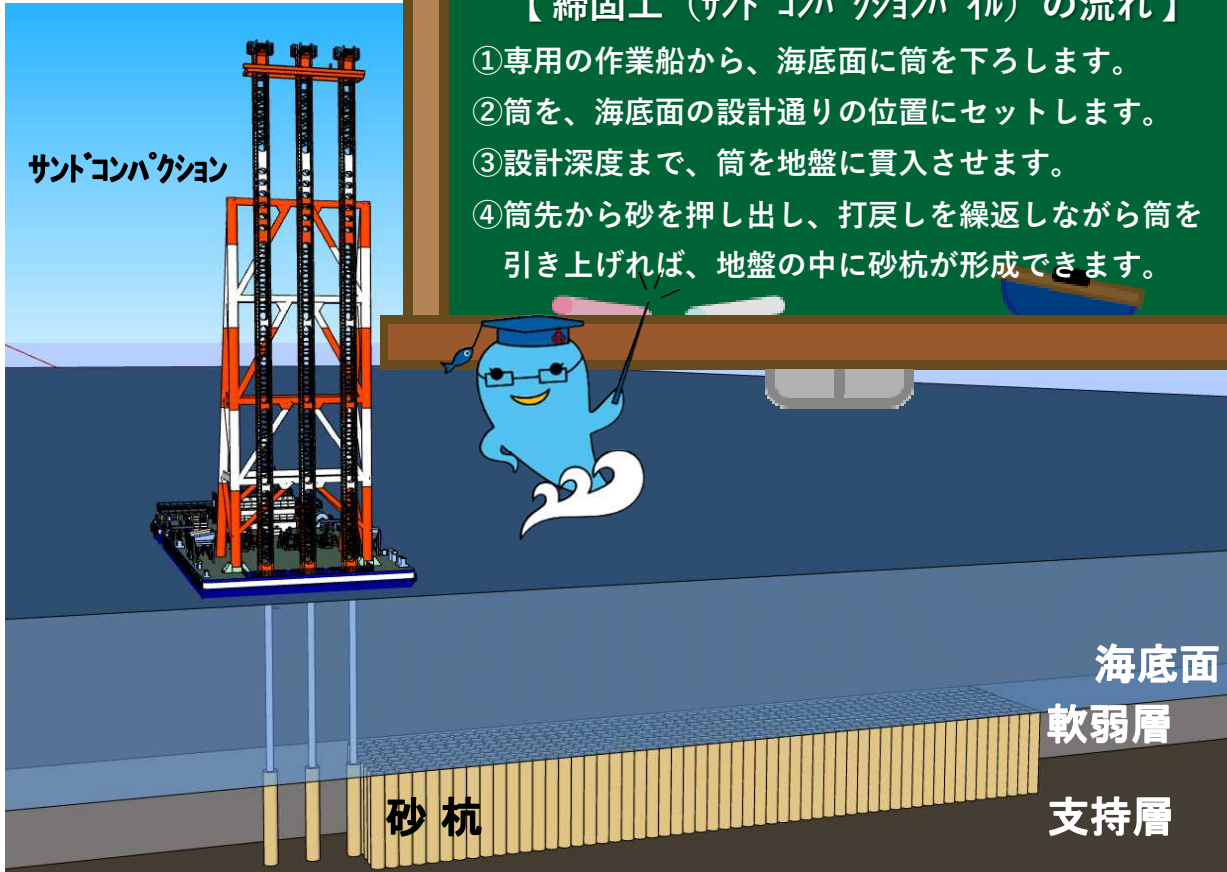
締固工

調査工

サンドコンパクション

【締固工（サンドコンパクションパイル）の流れ】

- ①専用の作業船から、海底面に筒を下ろします。
- ②筒を、海底面の設計通りの位置にセットします。
- ③設計深度まで、筒を地盤に貫入させます。
- ④筒先から砂を押し出し、打戻しを繰り返しながら筒を引き上げれば、地盤の中に砂杭が形成できます。



現場担当者紹介



東亜・本間・不動テトラJV
藤野さん

現場代理人の藤野です。
「安全をすべてに優先させる」の基本方針のもと、無事故・無災害での工事竣工を目指します。



五洋・みらいJV
塙さん

現場代理人・監理技術者の塙です。
現場内のコミュニケーションを大切に、安全第一での工事完了を目指します。



現場担当者ってどんな人？

現場担当者は、現場を代表し統制・管理、事務処理全ての役割を担う人です。